

深川市文化交流ホール

み・らい

NPO法人深川市舞台芸術交流協会

新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした
「施設利用ガイドライン」

ご利用者様向け

- お問い合わせ -

み・らい窓口 TEL 0164-23-0320 FAX 0164-23-0325

- ガイドライン作成 -

NPO 法人深川市舞台芸術交流協会
(深川市文化交流ホールみ・らい指定管理者)

〈 2020年11月18日 内容現在 〉

■ はじめに

本ガイドラインは、深川市文化交流ホールみ・らいの施設利用に際し、新型コロナウイルスの感染拡大を防止することを目的とし、また、ご利用される皆様と施設運営スタッフの安全を確保するために策定いたします。

施設をご利用される方は、感染予防対策実施の必要性を十分ご理解いただき、本ガイドラインで定める各項目を遵守いただきますよう、お願い申し上げます。

■ 目 次

p.2 【別表】 対人距離を確保した場合の人数制限

■ 利用者様へのお願い／用途別チェックリスト

p.3 【様式 1】 非公演型（練習・講習・会議等、特定の参加者で利用する場合）

p.4 【様式 2】 非公演型における参加者名簿（参考）

p.5-7 【様式 3】 公演型（ホール本番・展覧会・販売会等、不特定多数の集客がある場合）

p.8 【様式 4】 公演型における関係者名簿（参考）

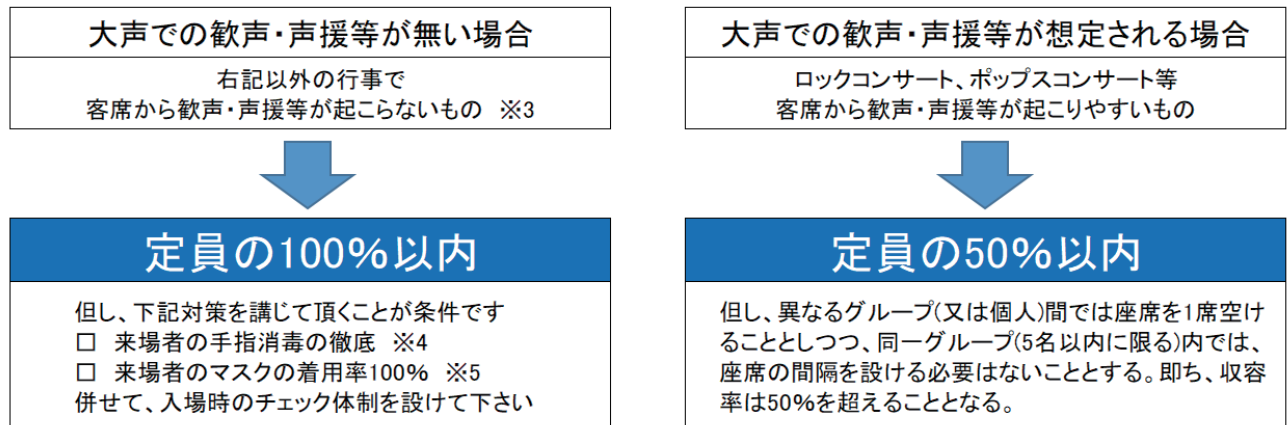
p.9-10 施設の取り組み

p.11 施設スタッフの取り組み

■ 対人距離を確保した場合の人数制限

2020年10月1日(木)より11月30日(月)の期間、下記の内容・方法でご利用いただけます。

(あくまで目安であり、感染防止対策に取り組み、適切な対人距離を確保できる人数でのご利用をお願いします)



名 称	面 積	定 員
ホール	932.30m ²	691名 (うち車椅子席12)
創作活動室1	37.10m ²	12名
創作活動室2	42.54m ²	15名
談話室1	17.86m ²	6名
談話室2	17.86m ²	6名
ワークショップルーム	104.50m ²	60名

- ※1 この人数制限の規制は2020年11月30日(月)までの適用としており、イベント開催制限に係る北海道の指針が変更になった場合は、随時それに準じます。
- ※2 国・北海道・深川市等の指示により、11月30日以前に人数制限を強める場合がございます。
従って、有料チケット等によるホール公演をご検討のお客様は、有事の際を想定し、払い戻しの措置等を規定して下さい。
- ※3 客席からの歓声・声援・唱和等が無いよう、公演パンフレット等への記載や、公演時のアナウンス等で周知徹底をして下さい。
- ※4 手指消毒に必要なアルコール等は、主催者様のご負担で手配して下さい。
- ※5 マスクを持参しない参加者がいることを想定し、予備的に配布できるマスクをご用意下さい。
また、アレルギー等何らかの理由によりマスクを着用出来ない場合は、フェイスシールドの装着等、他の措置を講じ、周囲に不安感を与えないようご配慮下さい。
- ※6 舞台上から客席への飛沫防止のため、客席最前列の着席は不可となるようご協力下さい。

■ 利用者様へのお願い／用途別チェックリスト

非公演型（練習・講習・会議等、特定の参加者で利用する場合）

※利用日ごとに作成し提出下さい

レ点チェックを入れ、利用当日までに窓口へご提出下さい

● 事前の体調管理

- ☐ 参加される方は事前の検温・体調管理をお願いします。
次の症状がある場合はご来館をお止め下さい。
(発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐)

● 感染予防対策・参加者の把握

- ☐ 入館時はアルコール消毒液による手指の消毒をお願いします。
☐ マスクの着用および咳エチケットの徹底をお願いします。
☐ こまめな手洗い・手指消毒をお願いします。
☐ 利用人数・貸室の大きさに応じた適切な換気をお願いします。
(最低でも1時間に10分以上の換気)
☐ 利用方法に応じ、適切な社会的距離を確保して下さい。(最低でも1m、出来れば2m以上)
☐ 対人距離を確保した場合の人数制限(P2)を遵守して下さい。
☐ 音響機材ご利用の場合、利用者間でマイク等の使い回しが無いようお願いします。
☐ 窓口での消耗品(テープ・画びょう等)の貸出しは行いません。利用者様でご用意下さい。
☐ 活動中、体調や気分が悪くなった場合、速やかに帰宅していただきますようお願いします。
(窓口へ必ずご報告下さい)
☐ 全ての参加者の名簿を作成(参考：様式2)し、保管して下さい。万が一感染症が発生した場合には、施設管理者に名簿を提出して下さい。(館内で感染が疑われる方が出た場合、市を通じて保健所等へ提出する場合がございます。予めご理解下さい)
☐ 利用終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は施設管理者に対して速やかに濃厚接触者有無等について報告して下さい。
☐ 可能な方は、北海道コロナ通知システムをご活用下さい。(p.10 参照)

団体名			参加者数	名
利用日時	年	月	日 ()	午前 ・ 午後 ・ 夜間
利用施設 レ点チェックを付けて下さい	☐ 創作活動室1 ☐ 創作活動室2 ☐ 談話室1 ☐ 談話室2 ☐ ワークショップルーム			

☐ 本チェックリストにある条項を遵守した上で利用します

利用代表者（自署）

係

■ 参加者名簿（参考）

非公演型（練習・講習・会議等、特定の参加者で利用する場合）

団体名					参加者数	名		
利用日時		年 月 日 () 午前 ・ 午後 ・ 夜間						
No.	利用時間	氏名(カタカナで記入)	年齢	連絡先電話番号	お住い	発熱	咳	倦怠感
1	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
2	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
3	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
4	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
5	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
6	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
7	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
8	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
9	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
10	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
11	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
12	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
13	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
14	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
15	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
16	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
17	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
18	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
19	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
20	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無

□ 利用日ごとに作成し保管して下さい。

ページ
/

■ 利用者様へのお願い／用途別チェックリスト

公演型（ホール本番・展覧会・販売会等、不特定多数の集客がある場合）

レ点チェックを入れ、利用当日までに窓口へご提出下さい

● 公演企画段階（予約段階）～公演前

- ☐ 公演企画にあたり、3密を回避する方策の導入をお願いします。
例）開場・休憩時間の延長、入場時のチケット確認の簡略化、社会的距離を保った入場待機列の計画、日時や座席の指定予約による人数調整、大人数での来館の制限 等
- ☐ P2の「対人距離を確保した場合の人数制限」を遵守した上で、公演計画をお願いします。
- ☐ 音響機材で利用の場合、出演者間でマイク等の使い回しが無いようお願いいたします。
- ☐ 高齢者や持病のある方が多数来場すると見込まれる公演については、感染した場合の重症化リスクが高いため、より慎重な計画をお願いします。
- ☐ 来場者に対し、来場前の検温の実施の要請や、来場を控えていただくケースを事前に周知して下さい。（チラシ・WEB等へ掲載等）
- ☐ 飲食を伴う公演企画はお断りします。
- ☐ 公演代表者は、全ての出演者・裏方を含む関係者を把握し、氏名・連絡先電話番号等の情報を記入いただき（参考：様式4）、保管して下さい。（館内で感染が疑われる方が出た場合、市を通じて保健所等へ提出する場合がございます。予めご理解下さい）
- ☐ 利用終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は施設管理者に対して速やかに濃厚接触者有無等について報告して下さい。
- ☐ 仕込み・リハーサル・撤去等において、十分な時間設定をお願いします。
- ☐ 展覧会・販売会等で作品（商品）を展示する場合、観覧する者が密にならないよう想定し、普段よりゆとりを持った作品（商品）配置となるよう計画して下さい。
- ☐ 消耗品（テープ・画びょう・回収ボックス等）の貸出しは行いません。公演主催者の負担でご用意下さい。

● 公演関係者の体調管理

- ☐ 公演関係者は入館前に自宅・滞在先ホテル等で事前の検温・体調管理をお願いします。
次の症状がある場合はご来館をお止め下さい。
（発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐）

● 公演関係者の感染予防対策

- ☐ 入館時はアルコール消毒液による手指の消毒をお願いします。
- ☐ マスクの着用および咳エチケットの徹底をお願いします。
- ☐ こまめな手洗い・手指消毒をお願いします。
- ☐ 控室等をご利用の場合は、スペースに応じた適切な換気をお願いします。
（最低でも1時間に10分以上の換気）
- ☐ 利用方法に応じ、適切な社会的距離を確保して下さい。（最低でも1m、出来れば2m以上）
- ☐ 窓口での消耗品（テープ・画びょう・回収ボックス等）の貸出しは行いません。利用者様でご用意下さい。
- ☐ 体調や気分が悪くなった場合、速やかに帰宅していただきますようお願いいたします。
（舞台スタッフ・窓口へ必ずご報告下さい）

■ 利用者様へのお願い／用途別チェックリスト【続き】

公演型（ホール本番・展覧会・販売会等、不特定多数の集客がある場合）

レ点チェックを入れ、利用当日までに窓口へご提出下さい

● 公演関係者の食事とケータリング

- ☐ 全ての食事は表面の汚染を防ぐ方法を用い、1 回分ずつ分けて配布して下さい（個別の弁当等）。また、全ての飲料は 1 回分用の容器に入ったボトルや缶で提供して下さい。
- ☐ ビュッフェ形式での食事の提供は禁止します。不特定多数が触れやすい茶菓子等の設置は出来る限り避け、やむを得ない場合は個別包装のものを採用して下さい。

● 公演当日

- ☐ 客席は適切な対人距離を確保するように努めて下さい。
- ☐ 公演の前後及び公演の休憩中に会場内の換気をお願いします。可能な限り公演中も定期的に換気を行って下さい。
- ☐ 入場待機列は、最低 1m（できるだけ 2m を目安に）の間隔で整列させて下さい。
- ☐ 展覧会・販売会等、小部屋を会場とし集客する場合、密とならないよう、一度に入室できる最大人数を予め設定し運用して下さい。
- ☐ 会場の入口に手指消毒用の消毒液を設置して下さい。
（公演時の設置準備は主催者様負担でお願いします）
- ☐ 飲食を伴う物販は禁止とします。
- ☐ 物販において、不特定多数の来場者が触れることが出来るサンプル品の設置は禁止します。
- ☐ 来場者からの差し入れやプレゼント等の受取りはご遠慮下さい。
- ☐ 入場時のチケットもぎり係は、マスクや手袋を着用して下さい。また、来場者自ら半券を切り箱に入れ、もぎり係がそれを目視で確認するといった方式で、来場者と接触しないよう工夫して下さい。
- ☐ 入場前または入場時、公演スタッフによる来場者の検温を実施していただき、検温の結果、発熱があった場合は入場をお断りするようお願いします。
- ☐ パンフレット・チラシ等の折込み物は、極力手渡しによる配布を避けて下さい。
- ☐ 展覧会・販売会等で来場者の個人情報を取得される場合（芳名帳への記入等）、不特定多数が触れやすいノート等での記入はご遠慮いただき、個別の用紙等で取得して下さい。また、筆記用具の使い回しはせず、使い捨てのスコアペン等でご対応下さい。

● 感染が疑われる方が発生した場合の対応

- ☐ 感染が疑われる方が発生した場合、速やかに別室へ隔離を行って下さい。
- ☐ 対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底して下さい。
- ☐ 濃厚接触者全ての氏名・連絡先を把握して下さい。
- ☐ 速やかに施設スタッフへ報告し、その後の指示を受けて下さい。

■ 利用者様へのお願い／用途別チェックリスト【続き】

公演型（ホール本番・展覧会・販売会等、不特定多数の集客がある場合）

利用当日までに窓口へご提出下さい

レ点チェックを入れ、

● 来場者の把握

- ☐ 公演当日、来場者全ての名簿を作成（参考：様式 4）し、保管して下さい。万が一感染症が発生した場合には、施設管理者に名簿を提出して下さい。（館内で感染が疑われる方が出た場合、市を通じて保健所等へ提出する場合がございます。予めご理解下さい）
- ☐ 利用終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は施設管理者に対して速やかに濃厚接触者有無等について報告して下さい。
- ☐ 併せて、来場者の「北海道コロナ通知システム」への登録促進をお願いします。
- ☐ 本ガイドラインに定めのない事項や、判断のつきにくい事項があった場合、必ず施設スタッフへご相談いただき、指示を受けて下さい。

団体名			
関係者数	名	来場予定数	(延べ) 名
利用日時	※ 準備・本番会期（開場・開演・終演）・撤収等の日時を詳しく記入して下さい		
利用施設 レ点チェックを付けて下さい	☐ ホール ☐ 創作活動室 1 ☐ 創作活動室 2 ☐ 談話室 1 ☐ 談話室 2 ☐ ワークショップルーム		

☐ 本チェックリストにある条項を遵守した上で利用します

利用代表者（自署）

係

■ 関係者名簿（参考）

公演型（ホール本番・展覧会・販売会等、不特定多数の集客がある場合）

団体名					関係者数	名		
利用日時		年 月 日 () 午前 ・ 午後 ・ 夜間						
No.	利用時間	氏名(カタカナで記入)	年齢	連絡先電話番号	お住い	発熱	咳	倦怠感
1	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
2	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
3	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
4	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
5	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
6	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
7	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
8	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
9	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
10	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
11	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
12	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
13	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
14	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
15	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
16	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
17	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
18	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
19	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無
20	入 : 出 :				市内・市外()	有・無	有・無	有・無

☐ 利用日ごとに作成し保管して下さい。

ページ
/

■ 施設の取り組み

● 施設内全般

- ☐ 開館前には施設内のドアノブや手すり等、不特定多数の方が触れやすい場所の消毒を行うほか、施設内の換気について十分な対応をとります。
- ☐ 施設入口に手指消毒用の消毒液を設置し、不足が生じないよう定期的な点検を行います。

● ロビー・休憩スペース

- ☐ 対面での会話を防ぐよう、座席・テーブル配置を工夫します。
- ☐ 窓等を開放し換気に努めます。
- ☐ 椅子やテーブル等、利用者が触れる物品の消毒を定期的に行います。

● トイレ

- ☐ 不特定多数の方が接触する場所は、定期的に清掃・消毒を行います。
- ☐ 飛沫防止のためハンドドライヤーを停止し、ペーパータオルの設置を行います。
また、不足が生じないよう定期的な点検を行います。

● 受付業務

- ☐ 受付窓口には飛沫防止のビニールシートを設置し、それを隔てて対応します。
(一定期間、利用者様の事務室への入室はご遠慮いただきます)
- ☐ 風除室・受付窓口には、それぞれに消毒液を設置します。スタッフが対応する際には必ず手指の消毒を行い、また、利用者様にも手指の消毒の実施を促します。
- ☐ 各室の鍵・貸出し物件・備品は、適時消毒します。

● 舞台業務

- ☐ 舞台仕込みの際、設営スタッフ同士が密接・密集しないよう注意を払います。
また、普段より余裕を持ったスケジュールで準備します。
- ☐ 備付け物件については適時消毒します。また、マイク・譜面台等の備品は利用者様の間で使い回しが発生しないよう注意を払います。
- ☐ 舞台に関係する工具(個人の工具含む)は、スタッフ間で使い回ししないよう注意を払います。
- ☐ 作業時に着用するヘルメットやハーネスはスタッフ間で使い回ししないよう注意を払います。また、作業の際には必ず手袋を着用します。
- ☐ 利用者様が密にならないよう、最低でも 1m、出来る限り 2m 以上の社会的距離を保ってもらうよう促します。
- ☐ 飛沫が起こりやすい吹奏楽・管弦楽・合唱・ダンス・バレエ等については細心の注意を払い、利用方法・利用人数・立ち位置等のアドバイスを積極的に行います。

■ 施設の取り組み【続き】

● 清掃業務

- ☐ 清掃を行うスタッフは、必ず使い捨て手袋（ニトリルグローブ等）を着用します。
- ☐ 清掃用具は常に清潔に保ちます。また、布巾・雑巾は長期間使い回しせず、出来る限り短い期間で交換します。
- ☐ スタッフは1作業ごとにこまめな手洗いを行います。
- ☐ 施設内のドアノブや手すり等、不特定多数の方が触れやすい場所の消毒を定期的に行います。

● 「新北海道スタイル」安心宣言

下記 POP 等を施設内に掲示し、新型コロナウイルス感染拡大防止のための啓発を行います。

● 北海道コロナ通知システム

下記 POP 等を施設内に掲示し、同システムへの利用者様の登録促進を行います。

み・らい

「新北海道スタイル」安心宣言

深川市文化交流ホールみ・らいでは、
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
「7つの習慣化」に取り組めます。

1. スタッフのマスク着用や小まめな手洗いに取り組みます。
2. スタッフの健康管理を徹底します。
3. 施設内の定期的な換気を行います。
4. 設備、器具などの定期的な消毒・洗浄を行います。
5. 人と人との接触機会を減らすことに取り組みます。
 - ・ 一定の距離（2m程度）を確保するソーシャルディスタンス。
 - ・ 間仕切りなどの活用。
 - ・ 人数制限や空席の確保。
 - ・ 時差出勤、テレワークなど。
6. お客様にも咳エチケットや手洗いの呼びかけを行います。
7. 館内掲示やホームページなどを活用し、会館の取り組みをお客様へ積極的にお知らせします。

※ 感染症対策の可視化（見える化）

深川市文化交流ホールみ・らい
 （指定管理者：NPO 法人深川市舞台芸術交流協会）

み・らい

北海道コロナ通知システム メールアドレス ご登録のお願い

北海道コロナ通知システムとは？
 「北海道コロナ通知システム」は皆様が施設利用やイベント参加の際、
 QRコードからメールアドレスを登録いただくこと、同日に同一施設を利用した方の中から
 感染者が確認された場合、北海道からEメールでお知らせするものです。



文化交流ホール み・らい

取得情報
について

● 登録日時、場所、メールアドレスのみ取得します。

● 感染拡大防止のみ利用し、60日を経過した時点で、速やかに破棄いたします。

● 氏名・住所・電話番号・行動履歴（位置情報等）は一切取得いたしません。

※ 詳細はご登録の際に利用規約をご確認ください。



Eメールで
お知らせする内容

「道内で新型コロナウイルス感染症の感染者が発生しました。
 その方の行動履歴を確認したところ、同一日に、あなた様も同一施設を
 利用されていたことが確認されました。」という旨の連絡をします。



北海道

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの商標登録です。
 協力：グラフィック・フューチャー・メディア株式会社、No4Apps実行委員会

通知システムの主旨・内容につきましては、
道庁ホームページ等でご確認下さい。

■ 施設スタッフの取り組み

● スタッフの体調管理

- ☐ 出勤前に自宅での検温・体調の確認を行い、以下の症状がある場合には出社しません。
以後、状況に応じて自宅待機等の対応を取り、経過観察を行います。
(発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、味覚や嗅覚の障害、眼の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等)
- ☐ また、前述と同様の症状を持つ方が同居者に居る場合、スタッフ本人においても経過観察を行います。

● スタッフの感染予防対策

- ☐ 従事中、スタッフにはマスクを着用を義務づけます。
- ☐ スタッフはこまめに手洗いや手指消毒を行います。
- ☐ スタッフのユニフォームや衣服はこまめに洗濯します。
- ☐ 不要不急の外勤・出張を極力避け、外部との連絡は出来る限りメール・電話・SNS等でのリモート会議で済ますよう心がけます。
- ☐ 従事中、気分が悪くなったり発熱した場合は途中退社し、以後経過観察を行います。